

平成27年度事業報告

1. 概要

少子高齢化の進展するなか、高年齢者の就業意欲は高く、労働力人口に占める高年齢者の割合や就業率は近年上昇を続けている。

また、少子高齢化の進展に伴い、将来に必要な労働力人口が減少することが懸念される中で、働く意欲のある高年齢者が、長年培ってきた知識や経験を活かし、年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」の実現することがますます重要であり、シルバー人材センターの役割も大きいものがあります。

このようななか、当センターの事業実績においては、「契約金額」は公共事業及び民間事業とも伸びが確保でき、単年度収支で700万円余りの黒字を計上することが出来ました。

また、会員数においても年度末で404名と前年度に比べ35名の増員となりました。

以下、平成27年度事業の概要について報告します。

2. 主な事業内容

(1) 就業機会の提供

平成27年度の実績は、延2,670件で前年度に比べて53件の伸びとなりました。

また、就業実人員では373人の会員の方々が就業されました。

(2) 会員の増強と普及啓発活動

広く市民、事業所等にセンターの活動や事業内容を周知するため、下記の活動を実施しました。

- ① 広報「むこう」及びホームページを通じ、また、普及啓発チラシを制作し当センターの活動や事業内容を掲載し、市民や事業所等に対して受注の拡大、会員の増強の普及啓発に努めました。
- ② シルバーの日として、11月16日、17日に開催された「向日市まつり」に出店し、役員及び職員によるシルバー事業の普及啓発活動の一環として、会員募集並びに仕事の受注を実施しました。
- ③ 11月22日には、「ボランティア清掃」として市内清掃を行い、シルバー事業の普及啓発活動を実施しました。

(3) 安全・適正就業の推進

事務所において「安全標語」を掲示すると共に、会員の方々が安全の意識を常に持ち、より一層安全就業の充実を図るため、安全委員が就業現場を巡回し、事故防止に努めました。

また、適正で公平な就業を推進するため、一人でも多くの会員に就業の機会を提供できるよう未就業会員の解消に努めました。

(4) 講習会、研修会の実施

- ① 高齢者活躍人材育成事業を京都府シルバー人材センター連合会と連携して、高齢者の雇用就業機会の確保を促進することを目的に、「障がい者介助講習会」を開催しました。
- ② 会員の日常生活や就業途中での交通事故の防止を目的として、向日町警察署員を講師に招き、「安全な自転車運転・自転車シミュレーションによる模擬運転」について交通安全講習会を実施しました。

(5) 歳末おかたづけ応援隊事業の実施

11月中旬から12月下旬までの間、地元福祉団体と協力し、生活支援を必要とする高齢者世帯のニーズへの対応として、歳末おかたづけ応援隊事業を実施しました。